

「バリアフリー食“凍結含浸”」ワークショップ活動報告 II

H24.11.20 ワークショップ事務局

1 介護の日フェスタ in 広島（福山会場）

日時：平成24年11月11日（日） 場所：福山ビッグローズ

- このイベントは、11月11日が「介護の日」であることを県民に周知し、県民や学生の介護・福祉に関する理解を促し、職業としての魅力を伝えることを主旨とするものです。
- 広島発の「凍結含浸」について、特に地元の介護に関心の高い方々に対して認知度を高める上で効果的なPR機会のひとつであると考え、当ワークショップとして出展しました。
- 出展した福山会場のイベント来場者数は、予想を大きく上回る約800名とのことでした。

2 展示PRの様子



ワークショップの紹介とともに実際の商品サンプルやカタログを展示紹介

- このイベントの事前案内がテレビ放送（11月5日）された際に、凍結含浸の出展があると知って、呉市から福山市の会場まで足を運ばれた方もあるなど、当ワークショップの展示ブースには、約100名の方が立ち寄り、多くの方が熱心に説明を聞いてくださいました。
- イベント会場には就活コーナーもあり、介護・福祉分野への就職希望者にも当ブースを訪れていただくことができました。
- また、ブース来場者には、食品工業技術センターで準備したゴボウのサンプルを実際に指でつぶして、凍結含浸法でどんなやわらかさになるのか体験していただきました。

3 ブース来場者認知度アンケート結果（概要）

① 回答者 18名

【内訳】年齢層別 ～29才 3名, 30～49才 9名, 50～59才 2名, 60～69才 3名, 70才～ 1名
所在地別 県内 16名, 県外 2名

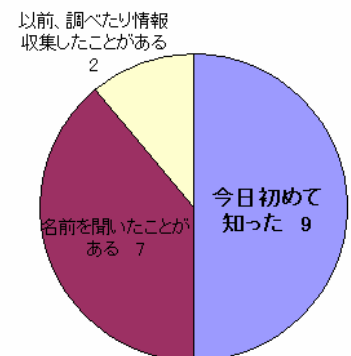
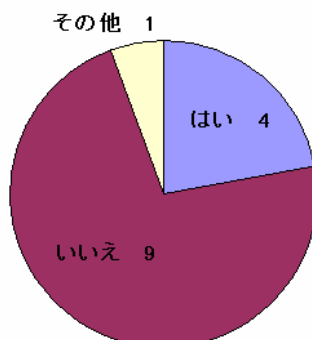
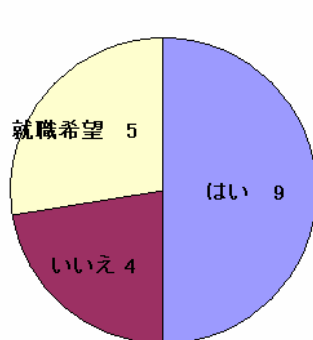
② 回答者の介護との関わり背景

③凍結含浸についての認知状況

Q 介護関係の仕事をされていますか？
(されたことがありますか？)

Q ご家族等の介護等されていますか？
(されたことがありますか？)

Q 凍結含浸(技術や調理、食品・食事など)について
ご存知でしたか？



4 総括

今回の出展PRにおいて、ブース来場者との会話やアンケート結果から、福山市を中心とする広島県東部地域の県民で、介護に関心や理解があると思われる方の凍結含浸の認知度としては、2人に1人が「名前を聞いたことがある」程度にはなっているように感じられました。

以前から興味を持っていたと言われる方もあり、家庭での調理や、自宅介護の際に使えるのかといった質問が多く寄せられました。「母が生きている間に知っていればよかった」とのコメントもありました。介護の現場で食事について切実なニーズがあること、それに凍結含浸食品・食事ならば応えられる部分があることを改めて実感し、利用普及に努める責任を感じました。